

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エンジョイキッズ		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	『できた』が味わえるように、出来ているときにたくさんほめて自己肯定感を高めると共に、苦手な活動にもやってみたいと思えるようなカリキュラムを立てていること。	できているときには、できていることを伝えてほめたり、苦手な活動に参加できた時には頑張ったことを一緒に共感してやる気につなげていくなど、子どもの気持ちを大切にしています。	子どもたちの気持ちに寄り添うことや、得意な所を伸ばしていけるようにすると共に、得意なことや新しい発見を保護者様にも共有して一緒に伸ばしていけるようにしていきたい。
2	『楽しい』の経験をたくさん積めるプログラミングを行い、子どもたちの笑顔を大切にしながら関わり、たくさんいろいろな経験が積めるようにしていること。	マンネリ化しないような課題の提案を行っていくこと。いろいろな経験をバランスよく積んでいけるようにしていくこと。ねらいをもって活動の提供を行うこと。	更に活動に参加したくなるような期待が持てる課題提供と、『楽しそう』と感じてもらえるような導入。
3	臨床心理士による研修やカンファレンスにより、スタッフが専門性を学んでいることで、子ども一人ひとりの困りごとや特性を理解して関わりを行うようにしていること。	学んだことのフィードバックを行い、再度自分に落とし込めるようにして、自分の知識として獲得できるようにしています。また、スタッフ間で個々の得意なことや好きなことや成長、課題を話し合っ共有しています。	学んだ専門性を生かして、保護者様にも研修出来るようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所、認定こども園、幼稚園との交流が拡充できていないこと。	園行事などが多く交流する機会を提案できていないこと。	園との連携を取ることや信頼が得られるように情報をこまめに共有して、交流する機会を増やしていきます。
2	地域交流が少ないこと。	防災訓練で集会所をお借りしたり、エンジョイ祭で地域との交流を行っているが、地域のイベントなどに参加するための情報が把握できていないこと。	地域のチラシなどを見たり、他事業所に情報を共有してもらおうなどして、参加できそうなイベントを精査していきます。
3	イベントなどの他児や保護者との交流機会が少ないこと。	保護者会では、地域交流としてファミリーマートの駐車場をお借りしていますが、祝日を使って交流できる機会を作った場合の駐車場確保や参加人数によりスペースの確保することが難しい。	駐車場の確保や、会を開くためのスペース確保を踏まえて、地域交流と同様に参加できそうなイベントを精査していきます。